仕様伺書　対象形式：JFR2

お客様記入		弊社記入	
形　式		JOB No.	
貴社名		機　番	ー
お名前		営業担当	
注　番			

営業部門	
承認	作成

■変換器設定項目

標準設定値以外での出荷をご希望の場合、出荷時設定値の項に設定値を記入して下さい。

項目名称	出荷時設定値	標準設定値	コメント
入力の種類	□オープンコレクタ □有接点スイッチ □電圧パルス □ 2 線式電流パルス □ RS422 ラインドライバ・パルス	オープンコレクタ	指定なき場合は、オープンコレクタとなります。
入力振幅 （電圧パルス、2 線式電流パルスのみ記入）	Vp-p（mAp-p）	ー	これらの数値は、入力信号波形を正確に把握するために必要なものです。 電圧パルス、2 線式電流パルスは通常検出レベルを DCオフセット値に設定します。 （オープンコレクタ、有接点スイッチ選択時はセンサ用電源電圧により、検出レベルが 1 V または 2 V 固定となります。） 端子間最大入力電圧は 50 V です。
DC オフセット値 （電圧パルス、2 線式電流パルスのみ記入）	V（mA）	ー	
入力スパン周波数 fis	□ kHz □ Hz □ mHz	1000 Hz	入力 100 % に相当する周波数を指定して下さい。 (2mHz〜100kHz。ただし、有接点スイッチは 2mHz〜10Hz)
出力スパン周波数 fos	□ kHz □ Hz □ mHz	1000 Hz	出力 100 % に相当する周波数を指定して下さい。 (0.2mHz〜10kHz。ただし、無接点AC, DCスイッチは 0.2mHz〜20Hz)
ノイズフィルタ （RS422 ラインドライバ・パルスは無効）	□大 □小 □なし 右記をご確認下さい。	小	入力周波数レンジに合わせてノイズフィルタを必ずご使用下さい。 ご使用されない場合､精度範囲外となることがあります。

入力スパン周波数	入力周波数レンジ	ノイズフィルタ
20k〜100kHz	0〜100kHz	なし
2k〜19.999kHz	0〜10kHz	なし
0.2k〜1.9999kHz	0〜1kHz	小
20〜199.99Hz	0〜100Hz	小
2〜19.999Hz	0〜10Hz	小
0.2〜1.9999Hz	0〜1Hz	大
20m〜199.99mHz	0〜100mHz	大
2m〜19.999mHz	0〜10mHz	大

<table>
<tr><th>項目名称</th><th>出荷時設定値</th><th>標準設定値</th><th>コメント</th></tr>
<tr><td>ドロップアウト
（入力周波数範囲内の周波数で設定）</td><td>□ kHz
□ Hz
□ mHz</td><td>入力周波数
レンジ0.3％相当の周波数</td><td>入力周波数レンジの0.3～100％相当の周波数に設定可能です。
ドロップアウト時は、パルスを出力しません。
ヒステリシスは（入力周波数レンジに対する）1％固定となります。
ドロップアウト設定値の最小ステップは入力周波数レンジにより
決まります
。
<table>
<tr><th>入力スパン周波数</th><th>入力周波数レンジ</th><th>最小ステップ</th></tr>
<tr><td>20k～100kHz</td><td>0～100kHz</td><td>10Hz</td></tr>
<tr><td>2k～19.999kHz</td><td>0～10kHz</td><td>1Hz</td></tr>
<tr><td>0.2k～1.9999kHz</td><td>0～1kHz</td><td>0.1Hz</td></tr>
<tr><td>20～199.99Hz</td><td>0～100Hz</td><td>0.01Hz</td></tr>
<tr><td>2～19.999Hz</td><td>0～10Hz</td><td>1mHz</td></tr>
<tr><td>0.2～1.9999Hz</td><td>0～1Hz</td><td>0.1mHz</td></tr>
<tr><td>20m～199.99mHz</td><td>0～100mHz</td><td>0.01mHz</td></tr>
<tr><td>2m～19.999mHz</td><td>0～10mHz</td><td>0.001mHz</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>不均等パルスの平均化</td><td></td><td>1</td><td>入力パルスを一旦分周した後、逓倍することで不均等パルスを補正し、
均等パルスを出力します。
<table>
<tr><th>入力ゼロ、スパン周波数の範囲</th><th>設定可能範囲</th></tr>
<tr><td>0～100Hz以下</td><td>1 ～ 255</td></tr>
<tr><td>0～1kHz</td><td>1 ～ 25</td></tr>
<tr><td>0～10kHz</td><td>1 ～ 2</td></tr>
<tr><td>0～100kHz</td><td>1 設定不可（固定）</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>出力信号のパルス幅
（ワンショット出力の場合のみ、ご指定下さい。）</td><td>ワンショット出力のパルス幅
□ ms
□ μs</td><td>400μs
(無接点AC, DCスイッチの場合
20ms)</td><td>調整範囲（30μs～300ms、
無接点AC, DCスイッチの場合、20ms～300ms）
$\frac{1}{(\text{出力スパン周波数［Hz］} \times 1.15)}$ ＞ワンショット出力のパルス幅［s］
※ワンショット出力のパルス幅は本仕様伺書でしかご指定できません。出力パルス幅が固定されるため、出力スパン周波数fosを変更する場合、上記式の条件に適合させる必要があります。適合しない場合、正常に出力できなくなります。</td></tr>
<tr><td>ワンショット期間の出力レベル
（ワンショット出力の場合のみ、ご指定下さい。）</td><td>□ “H”、“OFF”
□ “L”、“ON”</td><td>“H”、“OFF”</td><td>ワンショットが働いている期間の出力レベルを選択します。</td></tr>
</table>

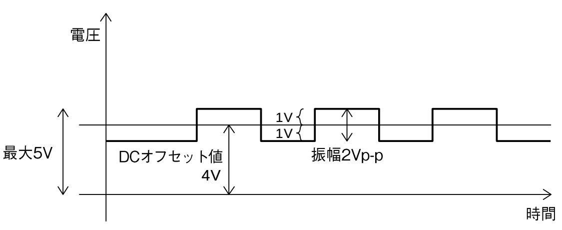
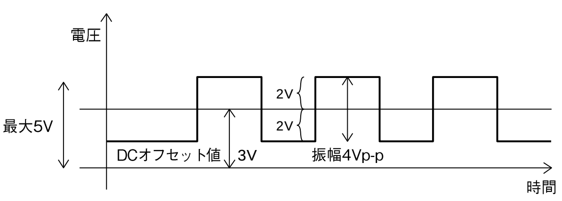
■入力振幅、DCオフセット値、端子間最大入力電圧について（電圧パルスのみ）

入力振幅と端子間最大入力電圧の関係が表1を外れる場合、パルスを検出できませんのでご注意下さい。

［表1］

入力振幅レンジ（Vp-p）	端子間最大入力電圧（V）
50 ～ 100	50
25 ～ 50	50
10 ～ 25	25
5 ～ 10	10
1 ～ 5	5
0.5 ～ 1	1
0.1 ～ 0.5	0.5

例1）入力振幅が 2Vp-p の場合、端子間最大入力電圧は表1より 5Vとなるので DCオフセット最大値は 4Vとなります。



例2）入力振幅が 4Vp-p の場合、端子間最大入力電圧は表1より 5Vとなるので DCオフセット最大値は3Vとなります。